

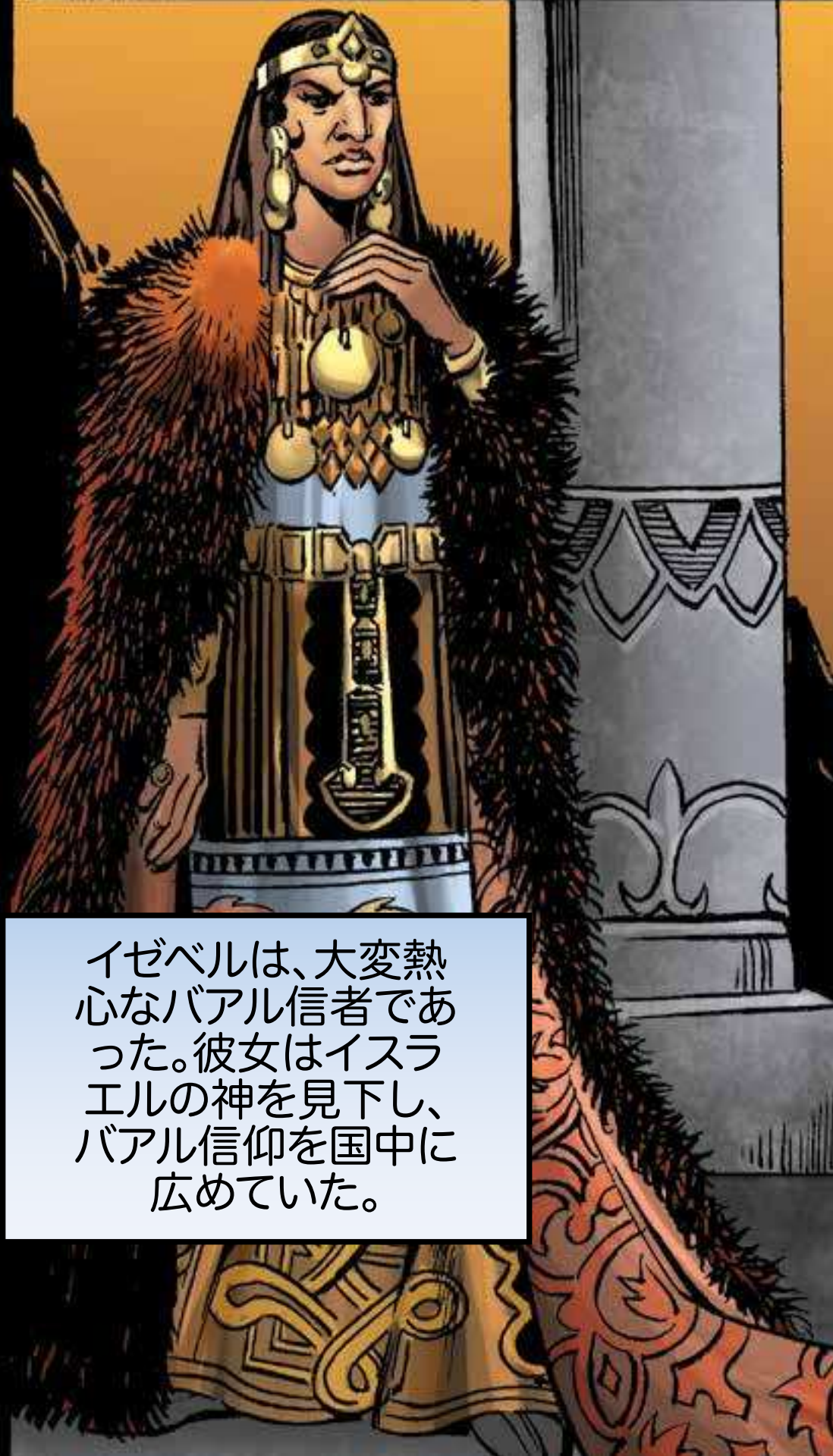


第6章


エリヤ



分裂した北王国に、イスラエルの王となったアハブという無力な男がいた(紀元前918年)。彼はサマリヤでシドン人たちと共に暮らしていた。シドンの人たちは、バアル神を礼拝する民族だった。アハブは、シドンの王、エテバルの娘イゼベルを妻にめとった。



イゼベルは、大変熱心なバアル信者であった。彼女はイスラエルの神を見下し、バアル信仰を国中に広めていた。



全能なる神の
預言者という者を
すべて見つけ出し、
殺してしまいなさい。
バアルこそ我ら
の神です。

王には、オバデヤとい
う、全能なる神を信仰
する召し使いがいた。

神の預言者
を見つければ警告せ
ねば…

オバデヤは、100人の神の
預言者を洞穴の中にかくまい、
彼らに水や食料を運んだ。



第1列王記16:28、31、18:4



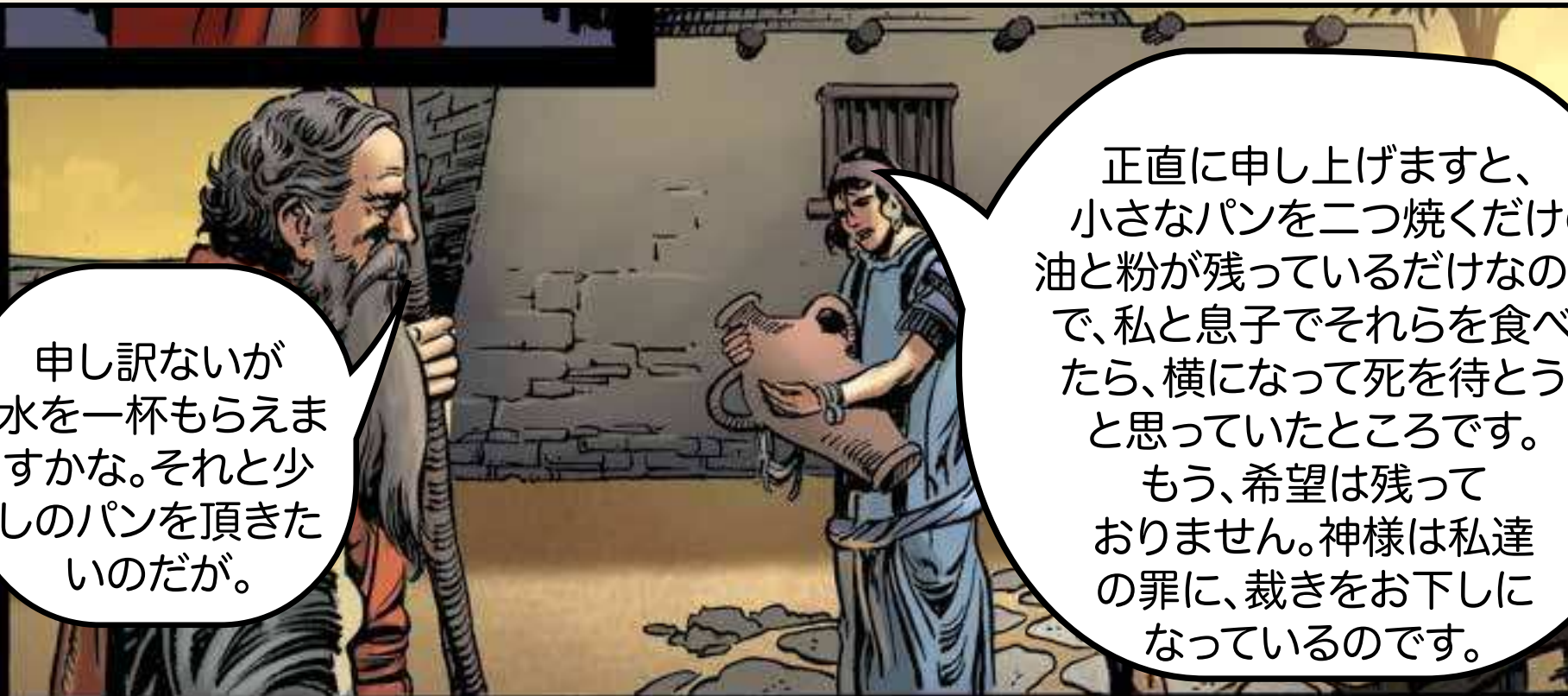
しかし、神の預言者でただ一人、隠れることを拒んだ者がいた。エリヤである。



アハブ王よ、あなたは、
父祖の神を捨て、奥方イゼ
ベルの邪悪な神に従っておい
です。全能なる神は、この
私が命ずるまでイスラエルの
地に、雨どころか一滴のしず
くさえ降らないであろう、
と仰せられている。


ハッハッハ、お前は預言者か！
この国には1000人も預言者がいるが、
彼らは干ばつなど起こらぬと言ってお
る。現に過去何年もの間、十分に雨に
は恵まれておるではないか。見せ掛け
だけのペテン師め！そこをどけ！

ききんがひどくなるにつれ、人々は飢えて命を落としていった。偽の預言者達は、バアルに助けを求めたが、バアルは応えてくれなかった。雨どころかしずくさえ降らず、干ばつは続いた。その頃、神はエリヤを一人の未亡人の家に使わした。干ばつが終わるまで、その未亡人がエリヤに住む家と食事を提供してくれる、と神は仰せられた。



申し訳ないが
水を一杯もらえますか
な。それと少しのパンを頂きたいのだが。

正直に申し上げますと、
小さなパンを二つ焼くだけの
油と粉が残っているだけなので、
私と息子でそれらを食べたら、
横になって死を待とう
とっていたところですよ。
もう、希望は残っておりません。
神様は私達の罪に、裁きをお下しに
なっているのです。




恐れてはなりません。神様はあなたがたを養ってくださいます。

まず、私のためにそれで小さなパン菓子を作り、私のところに持って来なさい。それから後に、あなたとあなたの子どものために作りなさい。イスラエルの神、主が、こう仰せられるからです。「主が地の上に雨を降らせる日までは、そのかめの粉は尽きず、そのつぼの油はなくなるらない。」

本当だわ！
かめには粉が、
つぼにも油がま
だちゃんと残
っている！



第1列王記17:1、10-16



使っても使っ
ても、ちっとも
減らないよ!


奇跡だわ!
神様は素晴らし
いお方です!

その後2年間に渡っ
て、3人は、かめの
中の粉を用いてパン
を焼き、食べ続け
ることが出来た。


ある日、未亡人の家にいつも通り帰ってきたエリヤは、彼女の息子が亡くなったことを聞かされた。



熱病におかされ死んでしまったんです。

A man with a grey beard and hair, wearing a long red robe, is walking down a set of stone steps. He is carrying a woman on his back. The woman has dark hair and is wearing a dark dress. The background shows a stone archway and a wooden door.

私が何か、あなたを傷つけるようなことをしたでしょうか。あなたは私の罪を思い知らせ、私の息子を死なせるために来られたのですか。

A close-up of a woman with dark hair, wearing a blue dress and a blue headscarf. She has a large gold earring and is covering her face with her hands, appearing to be crying or in distress.


イスラエルの神を信じるのです。

私の神、主よ。
どうか、この子の
いのちをこの子の
うちに返してく
ださい。





神はエリヤの願い
を聞かれたので、
子どものいのち
はその子のうち
に返り、その子
は生き返った。




アブラハム、イサク、
ヤコブの神、主よ、
感謝いたします。あ
なたこそ真実の神で
られます。

イスラエルの
神は生き
ておられる。

私の息子！

第1列王記17:17-24

ききんは3年にわたって続いていた。
民は飢えていたが、それでも偽りの神
に対するバアル信仰を止めなかった。




なぜバアルは、
我らの祈りを聞いて、
雨を降らせてくれ
ないんだ。

もしかするとバア
ルは口がきけないのか
もな。きっと耳がな
いんだろう。

イゼベルとアハブはききんをエリヤのせいにした。彼らは国中はもちろんのこと、隣接する国々まで兵を送り、エリヤを探した。エリヤを見つけ次第、殺せというのが彼らの命令であった。



エリヤを渡せ！
彼をかかまうと
お前も死ぬこと
になるぞ！



アハブ王よ、
私を探しておる
のかね？

このイスラエ
ルをききんで苦
しめているのは
お前だな。

偶像礼拝をし
ているあなたこそが、
イスラエルを苦しみに
追いやっているので
す。全能なる神と、バ
アル、どちらがまこと
の神か、勝負してみよ
うではないか。あなた
がたの預言者850人
を集め、カルメル山ま
で連れてきなさい。

勝負だと？面白
そうだ、受けて立
とうではないか。

数日後カルメル山にて



あなたがたは、いつまで
どっちつかずによろめいている
のか。もし、主が神であれば、
それに従い、もし、バアルが神
であれば、それに従え。

バアルの預言者たちよ。
私はあなたがたに挑む。
どちらがまことの神であ
るか、真実をつきとめ
ようではないか。

どっちが本当の神
か調べるってわけか。
で、どうやって見極
めるんだ？

第1列王記18:1、17-21

あなたがたはバアルに祈り、
私は全能の神に祈る。


そのとき、火をもって答える神、その方が、まことの神である。我々は、ただそのお方を礼拝するべきである。あなたがたのほうが人数が多い。先に始めていいぞ。

あなたがたは、バアルの祭壇を作れ。私は全能の神のために祭壇を作ろう。祭壇の上にたきぎを置き、その上には、ほふりの捧げものを供える。しかし、火はつけないでおくのだ。






バアルよ。今こそ
我らの祈りに答えたまえ。
偉大なる名のもとに、
このいけにえを捧げます。



おおバアル、
すぐれた偉大
なる我が神よ。


天の女王よ。
バアル神を助
けたまえ。



もしバアルが神なのなら、
きっと何かに没頭しているか、
席をはずしているか、旅に
出ているのだろう。

このうす汚れ
たブタどもめ！
もっとうまくや
れんのか！

第1列王記18:22-27



もしかすると、
寝ているのかもしれ
ないから、大声
で呼んで起こした
らよかるう。

あきらめるのは
まだ早い。我々自身を
傷つけてみよう。きっ
とバアルもお喜びに
なるはずだ。


バアルの預言者達は、絶望的になりながら、バアルのもとに声が届くようと、自らの身体を傷つけ、地面に倒れ込み、叫び声をあげながら祈り続けた。

ひいひい〜!

ぎゃあ〜っ!!

バアルよ、私の血を捧げます。どうか祈りを聞きたまえ!火を送りたまえ!真実の神であると示したまえ!

うお〜っ!




はっはっは、なんと
いう姿だ。答えもしない神に向
かって、9時間も叫び続けるとは。
もしバアルがまことの神であるな
らば、彼はこの機会を逃さずにその
ことを証明したであろうに。

さあ、今度は私
の番だ。近づいて、
私のすることをしっ
かり見るのだ。

バアルよ、
なぜ答えてくだ
さらないのか。

第1列王記18:28-30




なぜ、あんな
深い穴を掘っ
ているんだ？

暗くなるまで時
間稼ぎしている
だけだろうよ。

いつ祈り始
めるんだ？穴掘
りの勝負ではな
いんだぞ。

四つのかめに
水を満たし、この
全焼のいけにえと、
このたきぎの
上に注げ。

水だと？
濡れてしまっ
ては火はつかぬぞ。




まだ完全にぬれ
ていない。あと4杯分
の水を注ぎなさい。

気でも狂った
のか。日暮れま
でもたないな。


血迷ったか。
王はよく勝負
を引き受けた
ものだ。

第1列王記18:32-34



はっはっは。生ける神にとって、不可能なことなどありえようか。さらに4杯分の水を注ぎなさい。あなたがたはイスラエルの神を知るようになるだろう。そしてその名は、バアルではない、ということ。

王の怒りは
相当なものに
なるだろう。



さがり
なさい。

もっと。

後ろにさがっ
ているのだぞ。



アブラハム、イサク、
イスラエルの神、主よ。あなたが
イスラエルにおいて神であり、私があな
たのしもべであること、そしてこの民が、
あなたこそ、主よ、神であり、あなた
が彼らの心を翻してくださること
を知るようにしてください。

ゴォー！

うわああ

バキッ

ひいー！


第1列王記18:35-38

アブラハム
の神よ!

焼けてしま
いそうだ!

天から
の火だ!

助けてく
れー!



アブラハム、イサクの神は火をもって証明されたのだ。

岩や土までも焼き尽くしている。

形のない神がなぜ、この様なことが出来るんだ？



許してくれー！
どうか情けを！

モーセは我々に、
全能の神こそが唯一の神
であり、ただそのお方だ
けを礼拝せよ、と命じている。
イスラエルの子孫たちが、
他の神々を礼拝すれば、その
者たちは死をもって罰せら
れる、と言われたのだ。

850人、すべて滅ぼしなさい。

我々は知らなかったんだ。

剣をとって滅ぼすのだ。

バアルの預言者たちは、皆、滅ぼされた。

王よ、あなたは
食事をされたなら、
すぐに家路を急がれよ。
豪雨になりますぞ。




3年半ほど前、エリヤはアハブ王に、彼がそう命じるまで、イスラエルに雨は降らなくなる、と預言した。バアルの預言者たちが葬られ、民が再びまことの神を礼拝するようになったため、エリヤは雨が降るように命じた。



大雨によって川がはんらんすれば、家路を急ぐ彼らの行く手をはばむことになるため、彼らは、洪水に飲み込まれないように、大急ぎで帰路に着いた。

エリヤは、神の力を受け、宮殿までの30キロメートル以上の道のりを急ぎ、馬車の先頭を走り抜いた。



あなた、エリヤ
を殺してくれたのね。
バアル様が雨を降ら
せてくださってる。

違うんだよ。エリ
ヤは外にいる。彼は、
我々の戦闘馬車の前を、
カルメル山からここ
まで、ずっと走って
きたんだ。


ばかばかしい。どこの
誰が戦闘馬車よりも早く走
れると言うのよ。バアルの預
言者たちはどこ？雨が降り
出したお祝いの席をもう
けなければ。




彼らはすべて
滅ぼしたよ。皆、
偽物の大嘘つきだ
ったからね。



なんですって？
あなたはなんという愚
か者なの！エリヤを殺
すべきだったのに！



しかし、彼の神は火をも
って答えられたんだ。まさに
奇跡としか言いようがない。
我々の祭司達は手も足も出せ
なかった。民は皆、全能なる
神に立ち返ったのだ。



私に何が出来たと言うんだ？
怖かったんだよ。

私の祭司達を
滅ぼしただなんて！

あなたは愚か者よ！




どんな奇跡も、
エリヤをバアルの
怒りからは守っては
くれないわ。

私がエリヤを殺す
ことができなければ
神々が私を殺します
ように。

私はここ
を離れて逃げ
なければ。



エリヤは、神を信
頼する代わりに、
自分の命を守ろう
と、逃げ出した。


A man with a beard, wearing a blue and red robe, is kneeling in a rocky, mountainous landscape. He is holding a long staff or spear. The background shows jagged rock formations under a blue sky. The man's expression is one of despair or pleading.

主よ。もう十分です。
私は全力を尽くしました。
どうか、イゼベルが私を見
つける前に、私のいのちを
取ってください。

お恥ずかしい限り
でございます。私はあ
なたを信頼せずに逃げ出
しました。私は先祖たちにま
さらず、罪深い者です。
どうか私のいのちをお
取りください。



エリヤは、荒野を40日間歩き回り、ホレブの山、シナイ山の洞窟にたどり着いた。その山は、かつてモーセが、神から十戒を受けた場所でもあった。そこで神は、エリヤにお語りになられた。



エリヤよ。
ここで何をし
ているのか。

イスラエルの
人々はあなたの契
約を捨て、あなたの
祭壇をこわし、あな
たの預言者たちを剣
で殺しました。ただ
私だけが残りまし
たが、彼らは私のい
のちを取ろうとね
らっています。

外に出て、
山の上で主の
前に立て。

第1列王記19:4、8-12


エリヤはその場に立った。そのとき、主が通り過ぎられ、主の前で、激しい大風が山々を裂き、岩々を砕いた。しかし、風の中に主はおられなかった。

風のあとに地震が起こったが、地震の中にも主はおられなかった。

地震のあとに火があったが、火の中にも主はおられなかった。

神は、エリヤに、ご自身がイゼベルよりもはるかに畏れ多き存在であることを、お示しになられたたのである。






風が止み、地震や火が過ぎ去った後、エリヤは、かすかな細い声でお語りになれる神の声を耳にした。神はエリヤに、同じ質問をくりかえした。

エリヤはまだ学んでいなかった。彼は再び、自分の境遇を嘆きながら神に答えた。

エリヤよ。
ここで何を
しているのか。

イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、あなたの預言者たちを剣で殺しました。ただ私だけが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうとねらっています。



さあ、行って、エリ
シャをあなたに代わる
預言者とせよ。

あなたはまだ知らないか
もしれないが、イスラエルには、
バアルにひざをかかめず、バアルに
口づけしなかった者が7千人残って
いる。アハブの一族はみな滅ぼさ
れなければならない。



エリヤは、牛を引いて畑を耕しているエリシャを見つけると、油を注いで彼を預言者とした。

預言者になるように、と主が仰せられたのだ。

私は牛を主に捧げ、今すぐあなたに付いて行きましょう。

ナボテという男が、ぶどう畑を所有していた。それは、アハブ王の宮殿のそばにあった。アハブは時折、窓からそのぶどう畑を見下ろし、その美しさに魅了されていた。そして、それが自分のものであったらよいのに、と思い始めた。考えれば考えるほど、その隣人の所有物がほしくてたまらなくなっていく。神の戒めには、「隣人のものを欲してはならない」という教えがあったが、アハブは全能の神をあまり気に留めなくなっていた。



アハブ王は裕福であつたので、そのぶどう畑を買い取ることにした。


ぶどう畑を私に売ってくれ。私の宮殿のすぐそばにあるのだし。そなたにはどこか別の、もっとよいぶどう畑をあてがおう。

神がそのようなことを、お許しになられるわけがありません。



この土地は、
500年も前から先祖代々受け継がれてきた所有地です。法律では、親族以外のかたへ売ることは、禁じられています。



A man with a beard and long hair lies in bed, looking downcast. He is wearing a blue tunic. A woman in a pink dress stands by the foot of the bed, looking at him with a concerned expression. In the background, there is a wooden chest of drawers and a chair. On a table next to the bed, there is a pitcher and a bowl of fruit.

あなた、どうな
さったの？お食事
もされず、なぜそ
んなに悲しんでお
られるの？

ナボテが私
にぶどう畑を
売ってくれな
いんだ。

出エジプト記20
:17、第1列王
記21:1-7




あなたは王よ。望む
ものは、何でも手に入れ
る力をお持ちのはずでしょ。
貧しい百姓にふりまわされ
るなんて、とんでもない。
私があなたに、そのぶど
う畑を手に入れてさし
あげますわ。



仕事が終われば
残りは支払うわ。
何も言わず早く仕事
にかかりなさい。

モーセの十戒の中には、「あなたの隣人に対して、誤った証言をしてはならない」、という教えがある。






あそこにいる奴だ。

そうだ、
あいつが王は
死ぬべきだと言っていた。

ああ、奴は
神が悪魔を送り、
王に取り付かせた
と言っていたぞ。

奴は死刑だ。

彼らはナボテを連れ出し、殺した。




ほうら、あなた、
ぶどう畑はこれであなた
のものよ。冷酷非道でな
いと、この世は渡ってい
けません。強く生き残っ
ていかなきゃね。


素晴らしいと
思わんかね！私
に似合いのぶどう
畑だ。な、そう
だろう？

イゼベルは、バアル神
に悪事は見えていない
と思っていた。しかし、
天の神はすべてをごら
んになられていた。

出エジプト記20
:16、第1列王記
21:10-16




エリヤ、アハブに会いに
下って行け。今、彼はナボテ
のぶどう畑を取り上げようと、
そこに下って来ている。わたし
の言葉を彼に伝えるのだ。




アハブよ、主はこ
う仰せられる。「あなた
はよくも人殺しをして、
罪のないものから彼の所
有地を取り上げたものだ。
犬どもがナボテの血をな
めたその場所で、同じ犬
どもがまた、あなたの
血をなめる。」

あなたはまた、
私を見つけたのか。
わが敵よ。



あなたは、神から逃げることは出来ないのだ。あなたは所有物のために、自分の魂を投げうったも同然なのです。神は、あなたの一族すべてに災いをもたらされる。あなたの子孫や縁者は、子供といえどもすべて打ち滅ぼされるのだ。


あなたは神の怒りをひきおこした。あなたの家の前で、犬がイゼベルを食らうことになるだろう。アハブに属する者で、町で死ぬ者は犬どもがこれを食らい、野で死ぬ者は空の鳥がこれを食らう。あなたの一族は、誰も名誉ある葬りをされないのだ。



これは主のお言葉である。すべてそのお言葉通りになるのだ。


お願いだ！
全能の神のために、
全焼のいけにえを
ささげるから。

第1列王記21:17-26



エリヤの言ったことは全て本当に起きているぞ。


アハブは神に全焼のいけにえを捧げたが、心から神に立ち返ったわけではなかった。



しばらくして、偽の
預言者たちが、アハ
ブ王に、軍に関する
ことを助言しにきた。

ギルアデのラモテ
に行き、戦うのです。
神はあなたに勝利をも
らたすでしょう。

預言者は皆、
そう申してお
るのか？




アハブ王、神は私
に申されました。ギルアデの
ラモテに行けば戦いで命を
落とされるでしょう。

ミカヤの言うことに
耳をお貸しになってはい
けません。神の預言者は彼
だけではないのです。他に
いる400人もの預言者た
ちは、ギルアデのラモテに
行けば、大きな勝利と成功
を収める、と言っ
ているのです。


ミカヤは不
吉なことばかり
申すのだな。

アハブ王、あなたは
神の御前で悪を働かれま
した。あなたは金の亡者であ
る預言者達に助言を求めてお
いでですが、彼らは嘘ばか
り並べております。






私は、主が御座にすわり、
天の万軍がその左右に立っているの
を見ました。そのとき、主は仰せられま
した。「だれか、アハブを惑わして、
攻め上らせ、ギルアデのラモテで倒さ
せる者はいないか。」




すると、あれこれと答えがあ
りました。それからひとりの霊
が進み出て、主の前に立ち、
「この私が彼を惑わします」
と言いました。



私が出て行き、
彼のすべての預言者
の口で偽りを言う霊
となります。


第1列王記21:27、
22:6-22

それはいい案だ。彼らは、
その戦いで勝利を得る、と預
言するが、王はその戦場でい
のちを落とすのだ。出て行
って、そのとおりにせよ。




主の霊が私を
離れて行き、おま
えに語ったと
いうのか？

バシッ




いまに、あなた
が奥の間に入って身
を隠すときに、思い
知るであろう。

なんだと、それ
も預言か？



この男を獄屋に入れ、私が
無事に帰って来るまで、わず
かなパンと、わずかな水をあ
てがっておけ。私が戦から戻
ったら殺すのだ。

万が一、あなたが
無事に生きて戻ってこ
られたとしたら、私は偽
預言者となりますから、
喜んで死の裁きを受け
ましょう。



一般の兵士に変装
するとは良い考えですね。
敵はあなたが王だとは気が付
きませんよ。我々の兵士達がう
まくやってくれます。あなたが無
事にお戻りになられた時の、
あの預言者の顔を早く見
てみたいものです。

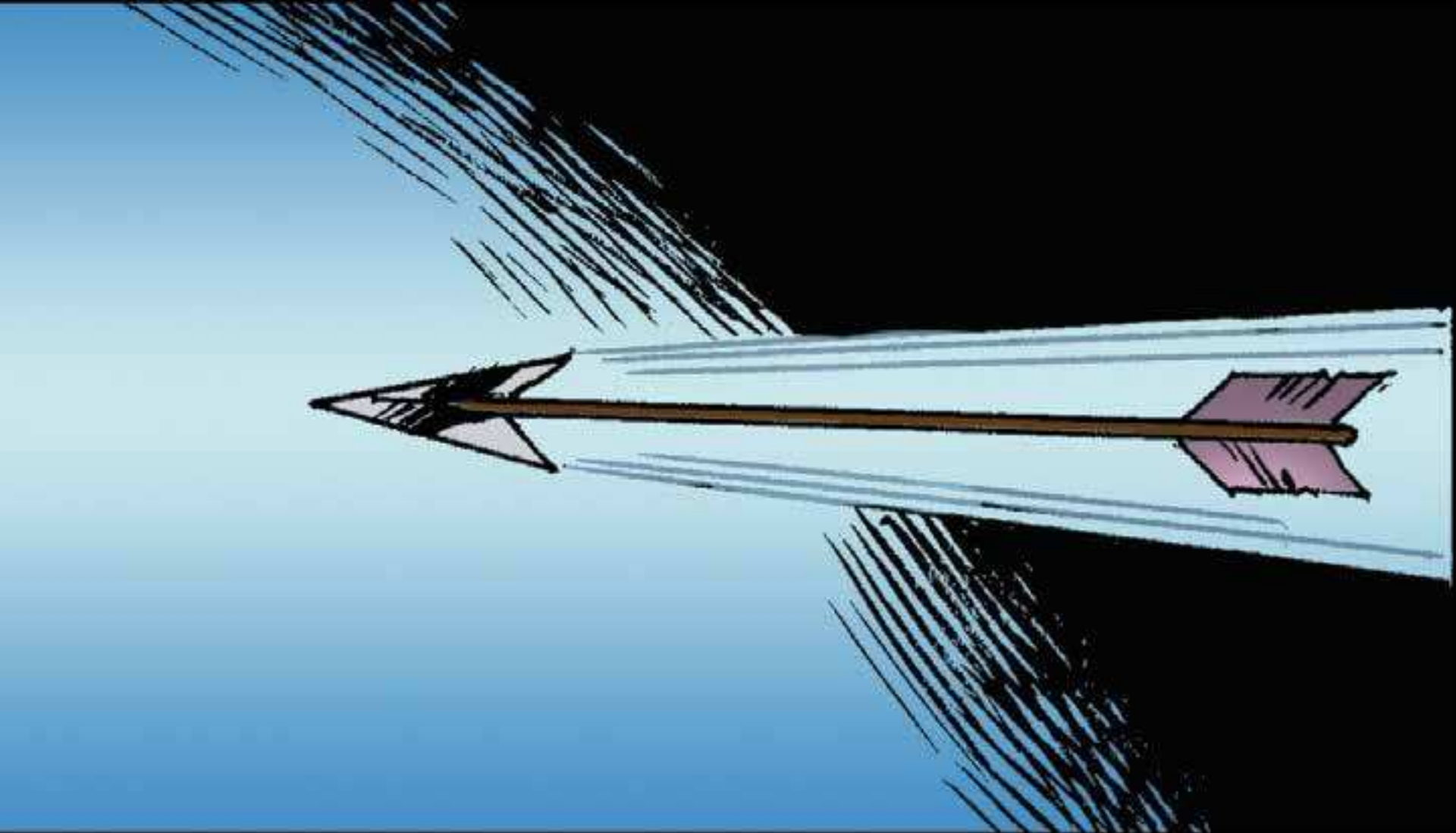
まさしく、この
甲冑を着け
ておれば、我に敵
なしだ。

第1列王記22:24-30

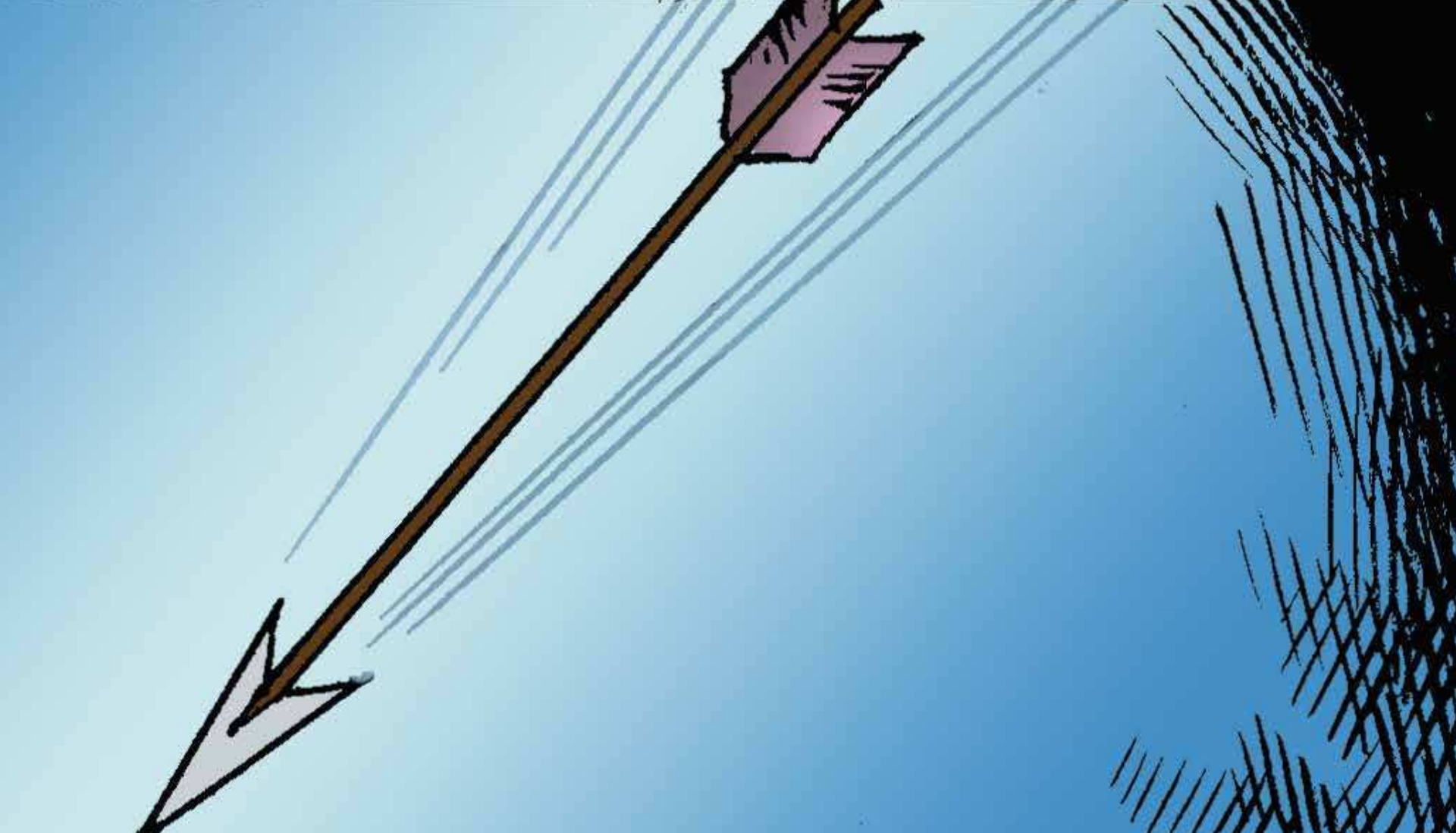
特に誰を狙ったわけでもないが、敵のひとりにあたってくれば、と願って放たれた、とある兵士の矢が、空中を高く飛んだ。












グサツ!

ウツ!


な、何だ?





急げ、血が
止まらない!

しっ
かりなさ
ってください!



鎧の隙間を矢
が射抜いたんだ。
亡くなる定めだ
ったのだろう。

残念
だが王は
亡くなられた。

まさか！
神様！

王の遺体は、
後できちんと埋葬
できるまで、ナボテ
のぶどう畑に安置
しておけ。






エリヤの言ったとおり、イゼベルの部屋の窓の下で、犬がアハブの血をなめた。彼が一族の中で最初にいのちを落とし、他の者もその後続いていった。

馬車に残ったアハブの血を洗い流した兵士は宮殿へ戻った。

王はどこですか
かな？勝利を祝う
はずでしょう？




第1列王記22:37-38、
第2列王記9:8-10



愚か者めが！お前は神の
預言者ではない。ただの嘘
つきだ！全能なる神の預言者
であるミカヤの言った通り、
アハブ王は死んだのだ。

そんなはずは
ない！敬虔な信者達
は皆、アハブ王に勝利
がある、と賛同して
いたのだ。

皆ではないぞ。お前が
殴って牢獄へ閉じ込めたミカヤ
は、そう言っていなかった。民が
このことを知ったら、おまえのい
のちはないものと思え。



王が死んだからには、
あなたは自由の身です。

私には分かっておりました。犬が王の血をなめることは神がおっしゃったのですから。次はイゼベルの番で、王の系統は次々に死ぬことも神のお告げなのです。



逃げなくて
は…

まてよ、なんてこった！
ミカヤは確か、私が奥の間に入
って身を隠す時に、誰が神の御
霊を受けているのか思い知る、
と言っておった。



アハブの息子が即位した後も、イゼベルは女王として君臨し、12年の月日が流れていた。イスラエルの民は偽の神々を礼拝し、まことの神の掟に背き続けた。



神はアハブの一族に対して仰せられた。「時は満ちた。アハブの一族は、子供でさえもみな滅ぼされなければならない。誰も生き残ることはない。イゼベルは犬に食われ、誰も彼女を葬らず、誰も彼女のために嘆き悲しむことはないだろう。」

12年後

エフー将軍が戦
から戻ってくるから、
化粧してきれいにし
ておかなければ。




第2列王記9:30

私が支配者だ
ということを知らせるた
めにも、ここに立って
出迎えましょう。



誰か、私の
側につくものは
いないか？





將軍、
我々が！

ならば、
イゼベルを突
き落とせ！

なんてことを！
私は女王よ！



第2列王記9:32-33



遺体はそのまましておけ!

神の仰せられた通り、かつて犬が、自分の夫の血をなめた同じ場所で、イゼベルはいのちを落とした。そして同じように犬がやってきて、彼女の遺体を食べ、その血をなめた。

ガル〜ツ



しかし犬達は、悪に染まったイゼベルの両手だけは食べなかった。

預言者が言ったように、アハブの家系の子孫は誰一人残らず、町の人々によって殺された。


町で死んだ者は犬がこれを食らい、
野で死んだ者は空の鳥がこれを食した。
埋葬された者は誰ひとりいなかった。
まさに、罪の報酬は死であった。

エリヤが祈っていると、若い預言者たちがエリヤのもとにやってきて、神の言葉を伝えた。




神は、若い預言者の幾人かに語られました。きょう、あなたの主人であるエリヤが、天に取り上げられることを知っていますか？

はい、神様は私にもそうお語りになりました。でも、何も言わずに黙っていてください。




エリシャ、お前はここに
いなさい。私はエリ
コに行くつもりだ。

神は生きておられ、
私はあなたを離れません。
あなたの行く所、
私も参ります。




きょう、主があ
なたの主人をあな
たから取り上げら
れることを知っ
ていますか。

私も知っているが、
黙っててください。
主人から目を離すわけ
にはいかないんだ。



エリコに留まっ
ていなさい。ヨルダ
ン川に行かなくては
ならないのだ。

主は生きておられ、
あなたのたましいも生き
ています。私は決してあな
たから離れません。



若い預言者
達がまた、付い
てきておる。

どうやって
川を渡るかが問
題ですね。今日
は流れが速い。

乾いた地面を
行くのだよ。

第2列王記2:3-7

バミヤ!


おおお〜!

見たか? 水が割れて道が出来た!

ああ、まるでモーセを見ているようだ。

こんな光景を見られるとは…。

バアルの預言者達に見せてやりたかったな。




私はあなたのために
何をしようか。私が
あなたのところから
取り去られる前に、
求めなさい。



あなたはむず
かしい注文をする。
しかし、もし、私があ
なたのところから取り
去られるとき、あなた
が私を見ることができ
れば、そのことが
あなたにかなえ
られよう。

では、あなた
の霊の二つ分
け前が私のものにな
りますように。

第2列王記2:8-11




神の戦車だ!



たつまきだ!


ゴーツ!



火の戦車が、
エリシャからエリ
ヤを引き離した。




エリヤは、たつ
まきに乗って天
へ上って行った。




そして静けさが
戻った。エリヤは
神のご臨在の中へ
と入ったのだ。

残されたものは
この外套だけだ。これ
を使ってエリヤは水を
分けられた。

第2列王記2:11-13



エリヤの神、
主は、どこに
おられるの
ですか。



エリヤの霊
がエリシャの
上にとどまっ
ている。

パシヤ!

なんという日だ!



エリシャは出て行って、エリヤの2倍近い奇跡をなした。彼は神に忠実に従ったが、民は依然として、完全には偶像から離れられずにいた。

エリヤはどこへ行ったんだ？

エリヤ様を捜さなければ！

無駄だよ、エリヤ様は天に召されたのだから。

第2列王記2:1
4-16



<https://goodandevilbook.com/>